

受験番号

氏名

模範解答

問一

工

2点

実際の生活の場面においての自分のあり方は周囲の人々や環境や気分によって態度や口調を無意識に切り替える複数の人格の緩かなネットワークとして存在しているということ。

問三

分人

4点

テクノロジーの進展によって、もともと与えられている自分の生き方とは異なる別の生き方を、複数の人格を自由にデザインして切り替えられるようになることで実現すること。

問五

過剰な情報や他者との接続によって細かい情報が蓄積してゆつくりと考える余裕がなくなり、さらに漠然とした同調意識に支配されて自分が欲しているものを考えなくなり、情報に意味を与える自分自身を見失っているから。

問六

A

工

B

イ

C

ウ

D

ア

2点×4

問七

ア	多様
イ	意図的
ウ	一因

エ	映
オ	容量

2点×5

問八

工

2点

考える際には必ずそこに〈私〉が存在する

2点